

# 同志社国文学

第 64 号

- 提婆達多の様……………植 木 朝 子 ( 1 )  
——『梁塵秘抄』法文歌の一性格—— ( 承前 )
- 〈内面〉の所在……………笹 尾 佳 代 ( 9 )  
——一葉「日記」の読書行為——
- 井上靖「補陀落渡海記」論……………山 田 哲 久 ( 21 )  
——「永祿八年」という虚構——
- 有吉佐和子「連舞」論……………水 山 知 春 ( 32 )  
——構想変更の意図と効果——
- 中上健次『千年の愉楽』における〈物語〉……………入 部 俊 紘 ( 46 )  
——〈天皇〉〈文字〉〈路地〉の関係性から——
- 響き合う文学教材 『山月記』と『ひよこの眼』……………西 尾 勝 彦 ( 61 )
- 〈資料紹介〉実相院蔵『壬生二品集』……………櫛 井 重 依 ( 72 )
- 翻刻 『武烈天皇鏡』……………翻 刻 の 会 ( 85 )
- 〈資料紹介〉「俳声」総目次……………青 木 亮 人 ( 124 )  
——明治の俳諧結社「秋声会」の準機関誌について——
- 朝日新聞社説の外来語……………橋 本 和 佳 ( 187 )  
——出自別推移を中心に——

2006・3

同志社大学国文学会